

稲美町 校務 DX 計画

1 校務 DX 推進における現状と課題

本町では、文部科学省の「GIGA スクール構想」や「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」等を踏まえ、校務 DX を推進している。統合型校務支援システムの導入や押印を求める書類の削減を進め、業務の効率化と働き方改革に取り組んでいる。しかし、教育委員会と学校間、学校と家庭間の各種事務手続きのペーパーレス化は十分に進んでおらず、書類の提出・集計・保存に依然として多くの時間を要している。さらに、システム間の連携不足やデータの一元管理が課題となっており、業務負担の大幅な軽減には至っていない。

2 校務 DX 推進のための課題解決策

本町の校務 DX 推進には、クラウドサービスの活用が不可欠である。児童生徒の欠席連絡はモバイル端末等から受け付け、お便りや配布物は一斉配信を行う。各種調査・アンケート等もオンラインで実施し、保護者や児童生徒との情報共有の効率化を実現する。また、ペーパーレス化を進めることで、書類の削減と業務の効率化を実現する。さらに、令和7年度の統合型校務支援システム更新を契機に、システム間の連携とデータの一元管理を強化する。これにより、業務の効率化を進め、時間削減を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。

3 次世代校務 DX 環境の整備について

次世代校務 DX 環境の整備は、校務のクラウド化、教育データ連携、そしてレジリエンス向上を実現し、教職員の働き方改革と教育の質の高度化に不可欠である。国や県の動向を注視しつつ、現状分析と望ましい校務の在り方について検討を継続する。具体的には、校務支援システムの刷新、クラウドサービスの積極的活用、セキュリティ強化、データ標準化を推進する。また、教職員の ICT スキル向上支援、保護者との連携強化も図る。これらの取り組みにより、効率的で質の高い教育環境を構築し、持続可能な教育体制を確立していきたい。